

【土砂災害時の道路への土砂流入を防ぐ応急対策技術】

函館開発建設部
令和7年9月5日作成

注意: マッチング成立時には現場試行調査及び発注者指定での活用することを前提としております。

1. 技術を求める背景

大雨による土砂災害発生現場では、大型土嚢の設置により道路への土砂流入を防ぐ応急対策をおこなって通行規制を解除する機会が多いが、近年では線状降水帯の発生等により複数箇所が同時に被災することが増えてきた。

大型土嚢を設置するまでには、土場で大型土嚢袋に土砂を入れる「土嚢製作」、大型トラックへの「積込運搬」、被災箇所での「取り下ろし」も必要となるため、被災箇所が複数あり必要土嚢数が多い場合は、応急対策完了まで時間を要し、通行規制解除まで時間がかかることから社会的影響が大きくなる。

大型土嚢の製作・積込運搬・設置時間を短縮することができれば、早期に通行規制を解除できるため、被災現場などでも製作でき、材料入手も容易な技術を求めている。

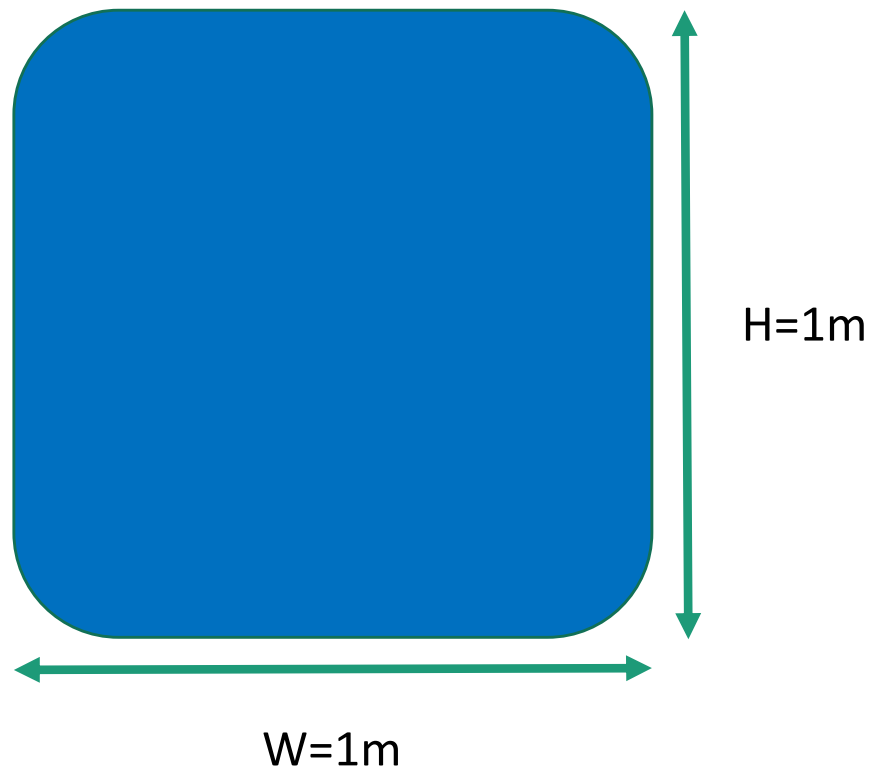
2-1. 求める技術とスペック

- ・ 使用する材料は全て環境への影響がないもの
- ・ 現地調達が容易な材料（水など）を使用して短時間で製作できるもの
- ・ 2～3名程度の少人数で作業できるもの
- ・ 土を詰めた大型土嚢と同程度の重量及び大きさのあるもの

本案件において、全工程の一部の解決に資する提案でもエントリー可能ですか 【可・不可】

2-2. 求める技術とスペック

写真・図 等 資料・イメージ



3. 提案にあたっての条件

●mustの条件

- ・土を詰めた大型土嚢と同程度の重量と大きさがあるもの。
- ・大型土嚢に入れる材料の場合は、変形しないこと。
- ・製作後、最低1ヶ月は使用可能。
- ・環境への影響がないもの。
- ・使用後の廃棄処分が容易なもの。
- ・許認可等が必要となるものは企業側で行うこと。

●mustではないが、望ましいまたは期待する条件

- ・制作後、1年以上使用可能。
- ・少人数で作業可能なもの。

●必ず不可とする条件

- ・must条件を満たさないもの。

4. 留意点

●その他、案件に関する前提条件や留意点、提案企業に提案書に記載して欲しい事項があればご記載ください。

・特になし